

浜田・若竹統合保育園（仮称）建設工事（設計業務委託）公募型プロポーザル
審査委員長 総評

審査委員長

酒田市健康福祉部長 菊池裕基

本件の公募型プロポーザルは、老朽化している浜田・若竹保育園の二つを統合し、新たな保育園を建設するという課題のみならず、特別保育（一時預かり、休日保育、障がい児保育など）の充実、地域子育て支援センターの併設や災害時における福祉避難所としての活用を含めた機能強化など、市内全域の子育て支援の充実を図ることを主眼とし、設計業務委託の受託候補者を選定するために実施したものです。

受託候補者に選定された提案では、今後の具体的な設計を進めていくにあたり、主要諸室の使い方などについて利用者等と一緒にワークショップを行い、それらの意見を反映させていくとともに、建築専門的な情報をわかりやすく説明して利用者等と共有していくとすることが含まれ、業務の取組み姿勢として高い評価を得ました。

また、乳幼児の発育段階や行動特性を踏まえ、子どもの自主性や協調性、創造性を育むといった保育園としての根幹に類する視点での提案に加え、子育て支援センターの機能としては、プライバシーへの配慮を念頭に置きながらも、利用者同士や地域の方々との交流を促す空間を配するなど、地域とつながりに関する魅力的な提案がありました。

さらに、木材を使用した保育施設の考え方については、酒田産材の活用方法や適材適所の工夫が見られ、地元の職人と連携した木製家具や壁仕上げへの部分利用といった提案なども評価のひとつとなっています。

技術提案書の内容はもとより、プレゼンテーションでの説明内容やヒアリングでの応答を含め、本プロポーザルの目的に相応しい受託候補者を選定できたものと考えます。

最後に、参加いただいた各者の提案は、これからの保育施設に求められる役割や子育て環境のあり方に関する素晴らしいアイデアを有し、それぞれの技術力が発揮されたレベルの高いものでありました。熱意と責任感を持って、真摯に取り組んでいただきましたことに対し、心から感謝申し上げます。